

北海道新幹線、渡島トンネル（台場山）工区における 地表面の陥没発生について

土砂流入によりトンネル掘削を中断しておりました渡島トンネル（台場山）工区において、当該箇所在地表面に、直径約5m、深さ約4m程度の陥没が確認されましたので、改めてお知らせします。

令和4年3月22日付『「北海道新幹線、渡島トンネル（台場山）工区」トンネル坑内の土砂流入について』にて、トンネル坑内に土砂流入が発生したことについてお知らせしました。

その後、ドローンにより定期的に地上部の監視を行っておりましたが、この度、現地立ち入りが可能になったことから地表面を調査したところ、掘削停止箇所直上の地表面（国有保安林）において、直径約5m、深さ約4m程度の陥没を確認しました。

なお、この陥没によるけが人等は発生しておりません。また、当該陥没が発生した箇所は山間地に位置しており、通常、人の往来がないような地域ではありますが、第三者の安全を確保するため、陥没部周辺の関係者以外の立入を禁止しております。

現在、トンネル坑内において土砂流入防止措置は完了しており、今後、陥没の発生原因の調査を進め、学識経験者にも助言をいただき、原因の究明を行うとともに復旧計画の策定、施工方法の検討を進めてまいります。

地域及び関係者の皆様にご心配をおかけすること、重ねてお詫び申し上げます。

記

1. 事象確認日時：令和4年5月10日（火）午後3時30分頃
2. 場所：北海道北斗市中山地内の山林（渡島トンネル入口から約6.4kmの地点）
3. 現地の状況：
 - ・ 陥没の確認以降、現時点で陥没の範囲は拡大しておりません。地表面の監視を継続してまいります。
 - ・ トンネル坑内に異常はありません。トンネル坑内の監視を継続してまいります。

4. 経緯：

- ・ 2022. 3. 17 掘削面付近で多量の湧水がトンネル坑内に流入、掘削工事を中断
- ・ 2022. 3. 18 土砂混じりの湧水がトンネル坑内に流入
- ・ 2022. 3. 19 坑内流入土砂をせき止めるための土のうの設置完了
- ・ 2022. 4. 19 トンネル坑内の土砂流入防止措置（土のう、モルタル充填）完了
（土砂流入推定量は累計で約350m³程度）
- ・ 2022. 4. 21 トンネル坑内より空洞探査の削孔作業を開始
- ・ 2022. 5. 10 地上部の立入りが可能になり、掘削停止位置直上の地表面において陥没を確認

<添付資料>

トンネル位置図

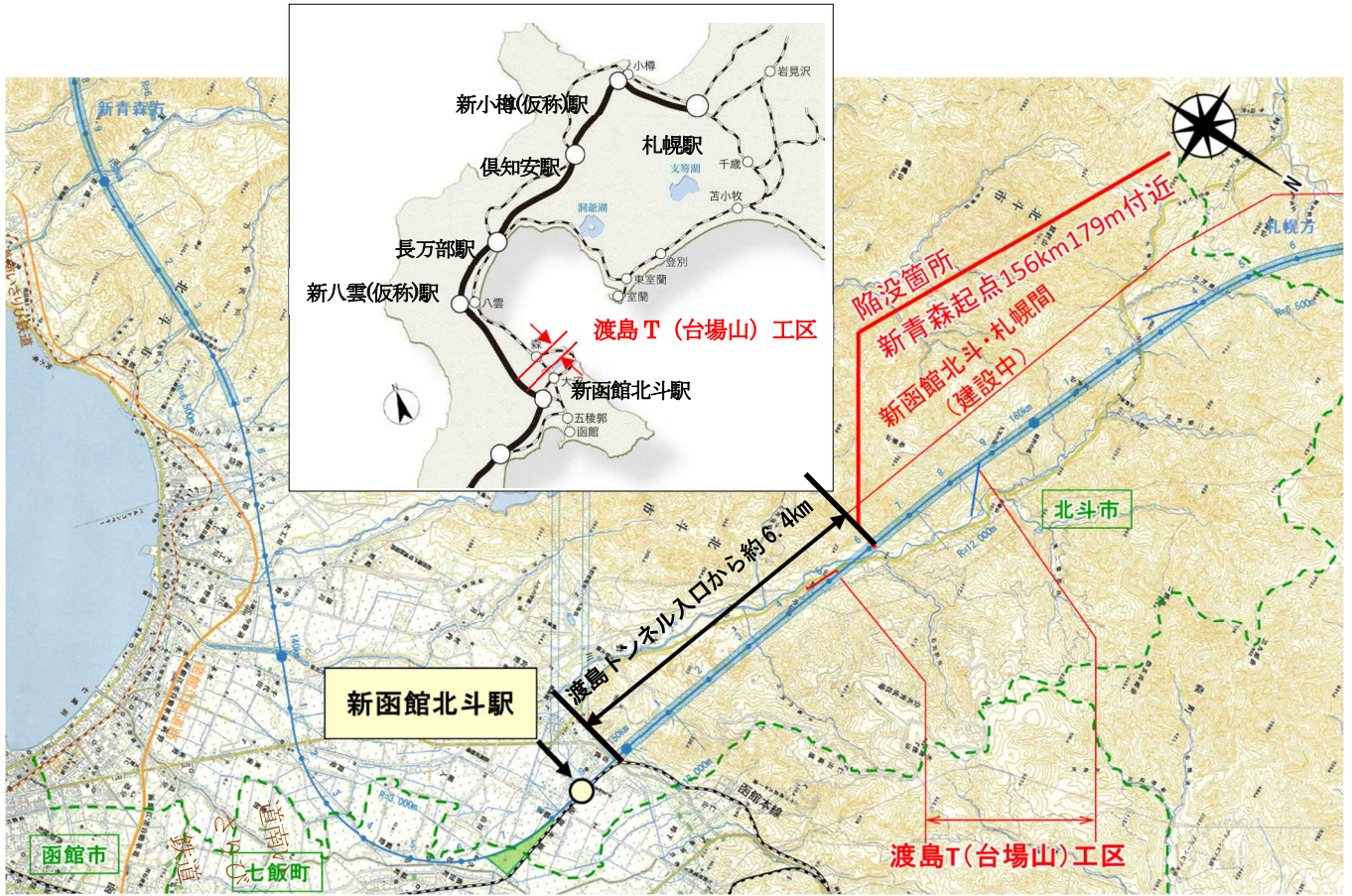
位置平面図

地表部および坑内状況写真

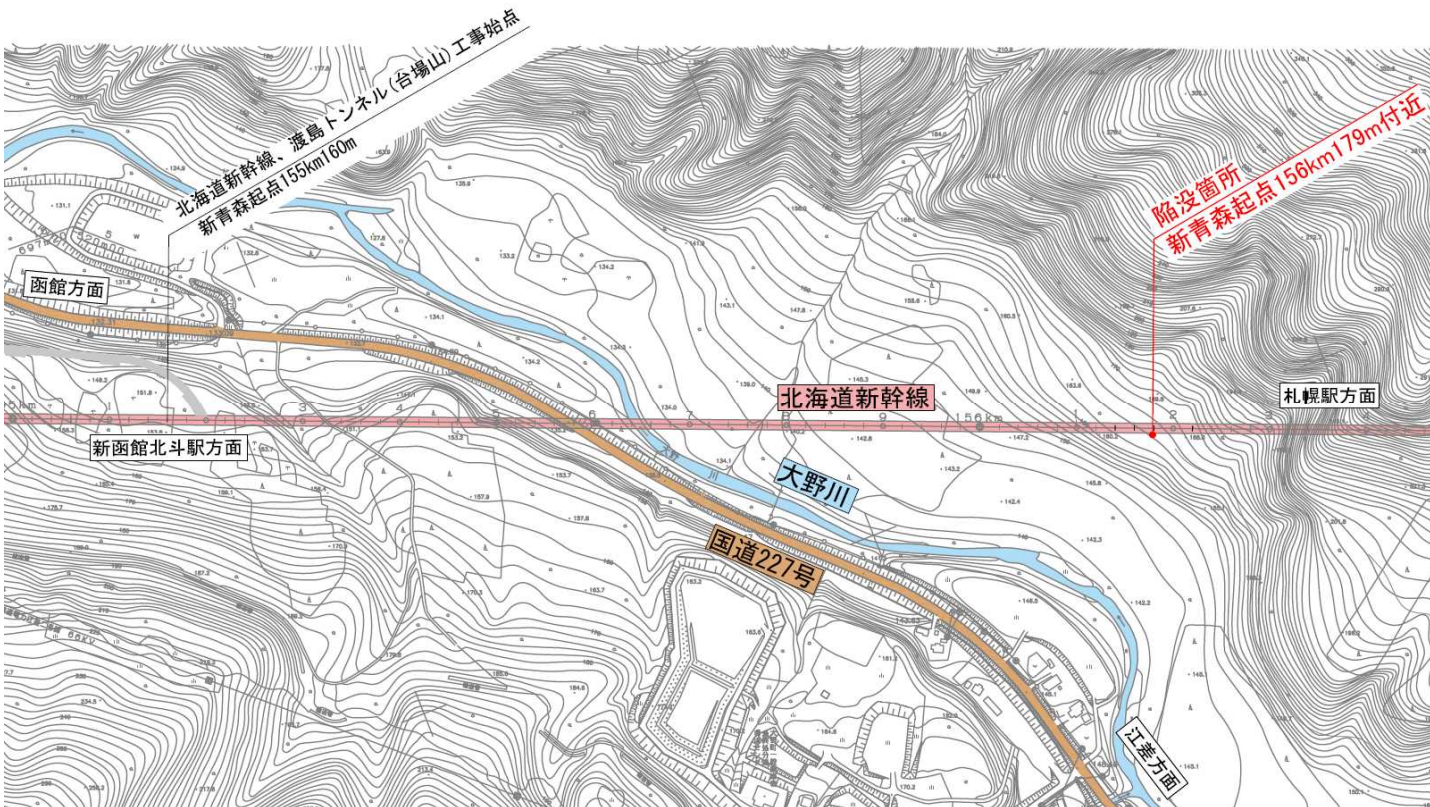
<本件に関するお問合せ先>

北海道新幹線建設局 広報・渉外課 TEL 011-231-3456

トンネル位置図



地表面陥没位置平面図



掘削停止位置直上付近の地表面の状況（令和4年5月10日午後3時30分頃撮影）



坑内の土砂流入防止措置完了の状況（令和4年5月10日午前8時30分頃撮影）

